

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第12号

発行年月 2006年9月
 発行所 岡山県訪問看護ステーション
 連絡協議会
 〒700-0805岡山市兵団4-31
 TEL086-235-0225・FAX086-235-0234
<http://okayama.houmonkango.net/>
 E-mail okayama@houmonkango.net

発行責任者 若林 敏子

副会長挨拶

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

副会長 菅崎 仁美

皆様こんにちは。この度、副会長をお受けすることになりました、岡山訪問看護ステーション看護協会の菅崎でございます。

今までは、先輩方からのご指導のもとで会の運営に携わってきましたが、今年度より副会長に就任することになり、その責任の重さを痛感しております。

役割があると大変ですが、自分の視野が広がり、人とのつながりも生まれてきます。そして、多くの人たちから、自分を育ててもらっているのだと感じます。新たな気持ちで頑張りたいと思います。

さて、医療制度改革の中で、在宅医療が拡大されている今、訪問看護の役割はさらに期待されているところです。しかし、訪問看護師の不足や運営困難等で休止するステーションが増えるなど、訪問看護ステーションをとりまく環境は厳しい状況です。また、医療ニーズが高く重症度の高い療養者や家族関係が複雑な療養者も増え、訪問看護の対象者も困難性を増しています。その中で、訪問看護師が中心となる療養通所介護や在宅療養支援診療所と訪問看護ステーションの連携強化による24時間在宅療養を支える仕組みが制度化されました。

新設のステーション紹介

徐々に様変わりしていく訪問看護に対して、各ステーションが連携し合い、様々な対象者へも対応できるようにする必要があります。連絡協議会がその一助となり、訪問看護師の集団として力をつけ、訪問看護の発展につなげていくよう努めていきたいと思っています。

皆様からもたくさんご意見をいただき、身近で心強い連絡協議会になるよう、皆様と一緒に努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

・訪問看護ステーション岡山
 管理者 大取美穂子

コムスの訪問看護ステーション岡山は、「二人でも多くの高齢者の尊厳と自立を守る」というコムスの理念に基づき、倉敷に続いて、平成18年2月に岡山市榎にオープンしました。榎は、JR高島駅近くの静かな住宅地で、介護サービスを提供するコムスの東岡山ケアセンターと併設しています。「24時間365日、在宅療養を心を込めてお手伝いします！」をモットーに、スタッフ一同元気に笑顔で訪問しています。まだまだ未熟ですので、研修会等にも積極的に参加させていただき、知識や技術の向上に努め、地域の皆様に信頼を得られるように頑張りたいと思っています。何卒宜しくお願い致します。

〒703-8248
 岡山市榎162-4



平成18年度研修会を受講して

「個人情報について」

—看護師が守るべき倫理・法令と情報のあり方について—

さいわい訪問看護ステーション 延原悦子

去る7月29日、生涯学習センターにおいて、元川崎医療福祉大学石本傳江教授により御講義いただいた。個人情報保護で大切な事は個人の人格尊重である。個人情報は患者のものであり、また患者が自由にできる権利であると説明された。たとえば個人情報には患者情報だけでなく看護師の価値判断情報も含まれ、それが誤認であればプライバシーの侵害になる。また患者には情報開示や情報を訂正する権利もあると説明された。私たちは今一度、情報収集のあり方、同意の取り方、看護記録の記述の仕方などあらゆるところにプライバシーの配慮がなされているか業務を見直す必要があると感じた。また事業者はプライバシーポリシーで事業目的やサービス内容、個人情報の利用目的を明確に提示する必要があり、また訪問看護師は法的規範だけでなく職業倫理や人権尊重という観点から配慮ある保護のあり方を考えていかなければならないと学んだ。

「追い風に乗っていこう、私たち訪問看護師」

倉敷記念訪問看護ステーション 藤田真利子

平成18年は医療・介護保険制度が大きく変わり在宅生活が重視され訪問看護の重要性は増してきている。訪問看護の飛躍のチャンスと思う反面、24時間体制に対応する人員の確保や連携の問題、看護師の質の向上等解決していかなければいけない問題があり頭を悩ませる事も多い中、ステーション連絡協議会の総会に出席し村松静子先生の講演を受講させて頂いた。「あなたは本当の看護の姿を知っていますか」等自問自答から始まり、私達、訪問看護師は「必要な時に必要な看護を必要なだけ提供」、「年齢を問わずたとえ重症でも在宅を希望するなら、それを支える」を根底に看護を実践する事が必要、そして相手に看護は必要なものと認めてもらう為には現場教育の充実を図り看護サービスの質の向上が最もたいせつと話された。当ステーションにおいても課題は多いが、訪問看護を利用して良かったと思って頂けるよう努力したいと考えています。

ステーションからの リレーだより

「訪問看護を通じて」

玉島虹の訪問看護ステーション 菊池純子

このステーションに来てまだ10ヶ月余りですが、約20年前、制度も整わない時代に訪問看護を経験させていただいたことがありません。当時は訪問看護師が往診にも付き、薬をセットするだけでなく、配達するという役割も担っていましたし、今ではなかなか見ることの無いような巨大褥瘡の処置や、何も保証の無い中、PTの同行訪問で移動方法や、リハビリ相談なども取り組んでいたように思います。医薬分業が進み、病院や施設の役割も細分化され、医療費削減の政策で、入院の患者様は少しでも早く退院して在宅へというのが今の時勢。在宅での看護レベルが問われる一方、壊疽の悪化が目に見えているのに経済的な理由で入院に踏み切れない事例や、ターミナル期で在宅を希望するご本人と、躊躇される家族との調整など、何かにつけ在宅分野の役割の重さを感じている毎日です。医師を含む他職種との連携や、慣れないレセプト処理など、様々な大変さを感じますが、喜びも直接跳ね返ってくるのでがんばっています。



「みなさん、ありがとうございます。」

訪問看護ステーションキャスト 中野真由美

「お母さん、今日何時に帰ってくる?」
小三の長男は毎日必ず尋ねます。「だいたい〇時頃かな。」と言うものの、その日のうちにおこななければならない仕事ばかりで、子どものお腹がすぎ始める時間には、なかなか帰れません。遅くなる日は、取り敢えず、夕食を作り、子ども達の顔を見て、また仕事に戻ったり、遅い日が続くと、一緒に寝て、早起きをして仕事をしたり。訪問看護の仕事は始めて一年半。仕事に力を入れすぎて家庭を疎かにすると、結局、いい仕事はできないと反省し、悪戦苦闘の毎日です。思いやりのあるやさしい子を育てることも、今の私の大切な仕事ですので、バランスをとりながら仕事をしたいと思っています。

夏休みに入り、毎朝子ども達が「お母さんお仕事頑張つてね。いつてらっしゃーい。」と送り出してくれます。いろいろな方に支えられて、今日も大好きな訪問看護の仕事ができます。感謝の気持ちを胸に、これからも笑顔で頑張ります!

「10周年を迎えて」

あしもり訪問看護ステーション 秋山安子

私ども法人の理念は生きがいの探求・生きがいの創造、その中でステーションとしては①利用者・家族が主役 ②生活に寄り添う ③聴く耳を持つ看護を目指してきました。何もかもが初めてであり、医療依存度が高い方をお引き受けする時は、業者の方に何度も来ていただき勉強会をしたり、病院へ出向いて教えていただいたりしました。いろいろなことにも挑戦しました。旅行にいっしょに行ったり保育園に同行したりしました。また、多くの方を在宅で看取らせていただきました。最期までお風呂に入りたい、おぶって浴槽まで行きました。娘さん一人での看取り、一緒に側にいました。利用者それぞれ人生の一こまを家族と共に看護師と一緒に過ごした時間です。10年間を振り返りいろいろなことがありました。携帯電話が24時間離せない私たち、常に質の良い看護を提供したいと努力してきました。制度がどんどん変わる中、これからの10年を見据えて、訪問看護で何ができるのか、何をしようとしているのか、後輩看護師たちに何を伝えたいのか、今一度考えたいと思います。

いずみ訪問看護ステーション 吉富昌子

「誰の為の看護か?」
「ご利用者の望まれている事は何か?」を、考えながら、あっという間に10年間が過ぎました。
開設当初は老人保健施設併設型の為か、高齢者の介護中心の要望が多く、どんな状態の方でもご希望があれば入浴介助をさせて頂くことを売りに、自慢の体力勝負で頑張っていました。
数年前より徐々に若い方、ターミナルの方、医療処置が必要な方が増え、硬い頭、年取った身体に鞭を打ちながら勉強の毎日です。
ご自宅での看取りも増え、その方の生き方を大切に、最期まで「その人らしさ」、ご家族の気持ちを尊重しながら、最期の瞬間まで一緒に輝ける「生」を追求していきたいと思っています。
スタッフ全員、若いとは言えない年ですが笑顔と優しい手、そして元氣をお届けする為に今日も車を走らせています。

退任のご挨拶

私は平成13年7月から平成18年6月まで当連絡協議会の事務局で働かせていただきました。約30年余り看護職として働きましたが、事務の仕事は初めてで就職当初は公文書の作成や、パソコンその他の事務機器の操作など戸惑うことばかりでした。
そんな中、会員の皆様が在宅ケアの中心的担い手として、看護の質の向上のため研鑽を積まれるお姿を見て、少しでも事務局が協力できる事があればと努力してまいりました。しかし、研修会の運営、広報誌の原稿依頼等々お願いすることも多く、又、ご迷惑をおかけすることもあったと思います。
在任中、大過なく過ごすことができましたのは、皆様のご理解とご協力があったからこそと感謝いたしております。私自身も働かせていただくことで多くの学びや充実感を頂きました。本当にありがとうございました。
最後になりましたが協議会ならびに皆様方の一層のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。
佐々木 静

おかやま看護展のお知らせ

- 日時：9月23日(土)・24日(日)
10:00~16:30
- 場所：アムスメール上之町商店街
(表町商店街内)
- 内容：健康測定コーナー
相談コーナー
写真・パネルの展示

編集後記

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様お元気で頑張っておられますか?
広報委員も、おかやま看護展に参加して訪問看護ステーションの活動をPRする予定です。買い物ついでに、是非足を運んでみて下さい。
広報委員一同

「事務局より」

5年間、当協議会発展の為に尽力いただきました事務局の佐々木静さんが6月末日で、退職いたしました。その後任として、9月1日より、藤本律子さんが、就任いたしましたので、よろしくお願いたします。

